

平成30年9月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 平成30年9月26日（水）午後1時30分～午後3時20分

2 場 所 市役所6階 602会議室

3 出席者〔教育長〕内藤隆行

〔委員〕大岩幹夫(教育長職務代理者)、吉本理、中川奈緒美、
寺本彰、清水国明

〔事務局〕美甘寿規教育総務部長、岩間健一学校教育部長、師岡林教育
総務部次長、戸村達男学校教育部次長兼学校教育課長、千葉
裕之教育総務担当参事兼教育総務課長、木村立彦文化財保護
担当参事兼文化財保護課長、池田隆人保健給食担当参事兼保
健給食課長、安田幸雄教育総務課主幹兼教育企画室長、森田
幸夫教育施設課長、稲田里織社会教育課長、海老沢康子スポ
ーツ振興課長、倉富恵理子生涯学習推進センター所長、中村
まさみ所沢図書館長、中田利明学校教育課教育指導担当主幹
兼健やか輝き支援室長、米澤三八子教育センター所長、葛貫
和也教育総務課主任、柳瀬美紀教育総務課主任、石井のぶ江
社会教育課主査

〔書記〕武政直行教育総務課主査、名雪晋祐教育総務課主任

4 会議の傍聴者 なし

5 開 会 本日の議案は、議案第22号から議案第23号の2件。
なお、議案第23号は、個人に関する情報が含まれるため、
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7
項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員
が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

6 議 題

議案第22号 平成31年度当初所沢市立小・中学校教職員人事異動の方針につ
いて

資料に則り、戸村学校教育部次長から以下のとおり説明がなされた。

教職員の人事異動については、毎年、埼玉県が「教職員人事異動の方針」及び
「市町村立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項」を定め、それに基づき、

県内教育界の活性化や、職務経験を豊かにすることによる人材育成等を期して人事が進められている。また、それに伴い、所沢市においても「所沢市立小・中学校教職員人事異動の方針」及び「所沢市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項」を定め、本市教育の充実発展を期して、人事異動を進めている。

今年度の「埼玉県の人事異動の方針」、「埼玉県の人事異動方針細部事項」、及び「所沢市の人事異動の方針」については、昨年度のものの変更点はない。「所沢市の人事異動方針細部事項」については、年月日等を今年度用に訂正したほかは、変更した点はない。

なお、『1 退職について』（2）の勧奨退職申し出期日は、県教委の人事異動方針細部事項に基づき、平成30年12月8日を「教育長が定める期日」とする。また、県の人事異動方針細部事項の『2 転任・転補について』（9）を、本年度も、本市小・中学校教職員人事異動方針細部事項の『2 転任・転補について』（7）として取り入れている。理由としては、本市には従来より通学区域の暫定区域があるため、暫定区域のある学校では在籍児童生徒数が変わる可能性がある。在籍児童生徒数の増減は、学級数の増減につながる場合があり、教職員数に関わることとなるためである。

以下質疑。

（寺本委員）

資料4ページの「所沢市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項」に、「新設校あるいは通学区域に変更等のある学校については、管理職を含めて教職員組織の充実を図る」とありますが、「充実を図る」とは具体的にはどういうことですか。

（戸村学校教育部次長）

学級数等の増減において、例えば、クラス数が増加することになった場合、学年主任等に配慮を要して、人材を配置することが必要となることを鑑みて、「教職員組織の充実を図る」としています。

（寺本委員）

クラス数の確定は新年度の4月で、人事は前年度末に終わっているため、クラス数が増えた場合は、臨時教員を充てることになるとは思いますが、そのことと「充実を図る」という部分に差を感じるのですが。

(戸村学校教育部次長)

急遽、クラス数が増えた場合は、臨時教員を充てている場合もあります。定期的に児童生徒の見込数を調査していますので、例えば、この学校はクラス数増加の可能性が極めて高い、というような見込を持って人事異動を進めています。

(寺本委員)

同じく資料4ページに、「特に、7年以上の者については、積極的に異動を行う」とありますが、例えば、59歳でなおかつ今いる学校の在籍年数が7年目の方で、他の学校に移っても定年退職まで1年しか残っていない場合はどうなりますか。

(戸村学校教育部次長)

その場合、残り1年で他の学校に異動するというよりは、在籍する学校で引き続き勤務することが多いと把握しています。

(寺本委員)

その方が定年退職後に再任用で勤務することになった場合は、引き続き在籍校で勤務できますか。

(戸村学校教育部次長)

再任用の場合、在籍年数はリセットされるため、配置をすることは可能ですが、経験年数等を考え、別の学校に異動していただくという場合が多いです。

(吉本委員)

資料5ページのさいたま市との人事交流についてですが、過去に交流をした例はありますか。

(戸村学校教育部次長)

以前には、交流を行ったことがあります。採用がさいたま市と別々になってからは、行っておりません。

(吉本委員)

せっかくこのようなシステムがあるので、さいたま市のノウハウを参考にすることもできますし、相互に高め合う意味でも、活用していただければと思います。

(大岩教育長職務代理者)

「女性教職員の管理職への積極的な登用」という記載がありますが、人事異動の方針は、校内人事にまで配慮するように指導しているのでしょうか。

(戸村学校教育部次長)

女性教職員の管理職への積極的な登用については、校長会においても指導しています。また、生徒指導主任や教務主任に女性教職員を配置するなど、性別に関わらず校内人事を行い、人材育成を図っていくことも伝えていきます。

(大岩教育長職務代理者)

昨今の社会状況として、女性に活躍の場をとという取組が進んでいますので、そのことを意識した指導に励んでほしいと思います。

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第 2 3 号 平成 3 0 年度所沢市教育功労者の表彰について

《 削除 》

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

7 協議事項

第 2 次所沢市教育振興基本計画素案について

資料に則り、安田教育総務課主幹兼教育企画室長より、以下のとおり説明がなされた。

8 月の教育委員会会議に引き続き、前回からの修正点をふまえて、再度ご協議いただきたい。今後のスケジュールとしては、パブリックコメントを 1 2 月頃に実施した後、最後の審議会を行う。審議会から答申を得て最終案をまとめ、1 月の教育委員会会議に議案としてお諮りする予定である。

以下、質疑。

(寺本委員)

7 ページでプログラミング教育について記述されていますが、どの程度力を入れて取り組んできたのでしょうか。

また、4 5 ページの指標「ICT を活用して指導できる教員の割合」において、現状値（平成 2 9 年度：6 5 . 9 5 %）と目標値（平成 3 5 年度：7 0 %）にあまり変化がないように思えますが、いかがでしょうか。

(米澤教育センター所長)

平成 3 2 年度から小学校において、新しい学習指導要領が適用され、プログラミ

ング教育が全面実施されます。それに向けてプログラミング教育の研究を始めて、講義をしたり、研究授業をしたりして、これから本格的に実施される導入部分を、第1次計画の振り返りとして7ページに記載しています。

45ページの指標については、平成21年度で53.5%だったところ、平成29年度に65.95%まで上昇しました。第2次計画の5年間で実現可能な目標として、平成35年度までに70%と設定しています。

(寺本委員)

私の経験では、中学校の先生より小学校の先生の方が、ICTの活用に積極的である傾向があるという印象を持っています。ICTの活用に関して、小学校から中学校への継続性が持たれるようになってくると良いと思います。

また、普通教室のLAN整備率を100%にするという目標を掲げていますが、できるだけ早期に実現してほしいと思います。これは、タブレットの活用に連動しますので、LANが整備されれば活用する先生が増え、理科や家庭科など実物を見せて行う教科での効果が見込めると思います。

(吉本委員)

所沢図書館は、建て替えの予定はありますか。

(中村所沢図書館長)

平成19年に耐震工事を行っており、当面建て替えの予定はありません。ただし、老朽化は進んでいるため、改修は計画的に行っていくことになります。

(吉本委員)

改修の際に、館内をリフォームする予定はありますか。

(中村所沢図書館長)

耐震工事の際には、部屋を増設するなど館内レイアウトを変更しました。今後そういった機会がある場合は先進事例を参考にしたいと思い、視察なども行っています。

(吉本委員)

現在、前衛的な建物の図書館に人気があり、利用率も高い傾向がありますので、所沢市もそのような視点を普段から持って、継続的に考えていけると良いと思います。本を利用するというソフトだけではなく、ハードである建物が与えるインパクトも含めて、図書館のことを記述してほしいと思います。

(千葉教育総務担当参事)

第1次計画では、学校教育と社会教育の2つの分野で基本方針を立てていました。それに対して、第2次計画の特徴としては、さらに教育環境という分野を基本方針に加えました。図書館に関しては、43ページの(4)社会教育施設の環境整備において、計画的な修繕や改修工事を行うなどの整備について記載しています。

(寺本委員)

7ページの第1次計画の振り返りで掲載されている TEA-Plan についてですが、第2次計画ではどこに掲載されていますか。

(米澤教育センター所長)

24ページの3行目、2つ目の が TEA-Plan に関する内容となります。

(寺本委員)

24ページでは TEA-Plan という表現が使われていませんが、重要な取組だと思えますので、「TEA-Plan を継承して(で培った)」というような記述があると良いと思います。

(清水委員)

42ページの「所沢市にふさわしいエアコンの設置」についてですが、どのような機器を使用するだけでなく、電力供給の方法も含めて『マチごとエコタウン所沢構想』に沿った検討をしていただけると良いと思います。

(内藤教育長)

他に意見等がありますか。

《意見等なし》

(内藤教育長)

それでは、各委員の意見等を踏まえた対応をよろしく申し上げます。

第3次所沢市子どもの読書活動推進計画素案について

資料に則り、中村所沢図書館長より、以下のとおり説明がなされた。

平成26年度に策定した「第2次所沢市子どもの読書活動推進計画」が平成30年度で終了することに伴い、現在、次期計画である「第3次所沢市子どもの読書活動推進計画」の策定を進めている。策定にあたっては、国の「子供の読書活動に関する基本的な計画」、県の「埼玉県子供読書活動推進計画」を参酌する

とともに、市の上位計画と整合性を図りながら進めてきた。

「子どもの読書活動の推進に関する法律」の基本理念にもあるが、「子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものである」とされている。本計画は、子どもの読書活動に関する施策を、総合的かつ計画的に推進するため策定するものである。

本計画の特徴について、1点目は構成についてである。第2次計画までは、3つの基本方針ごとの構成としてきたが、第3次では取り組み主体別の体系とした。これは、発達段階ごとの取り組みが明確になるよう工夫したものである。近年、スマートフォン等の普及による子どもの読書環境の変化は著しく、国の第4次計画によると、「中学生までの読書習慣の形成が不十分であることによって、ティーンズ世代の読書離れが進んでいる」とあり、その改善に向けては、発達段階別の取り組みが必要であるとの分析がされている。本計画を取り組み主体別にしたことにより、発達段階ごとの施策が明確になり、各所属が連携していくための拠り所となると考えている。

2点目は、学校図書館の機能充実に着目した点である。所沢市では小中学校で学校司書の配置が進んでいる現状もあるので、学校図書館の機能をより活かせるよう、校長を中心とした体制で推進していくという内容を記載している。基本理念、基本方針は、第2次計画を引き継ぐこととした。【第4章】では、実施主体ごとに、基本方針の3本の柱の具体的な取り組み内容を掲載している。また、今後本文中の専門用語などについては脚注を入れ、イラスト写真なども入れていく。

今後の予定は、11月10日(土)から11月30日(金)までの期間でパブリックコメントを実施し、市民の方からご意見をいただき、計画の発行については平成31年3月を予定している。

以下、質疑。

(寺本委員)

79ページの資料編にある「読みたい本をどのように手に入れていますか。」という中学校2年生への質問に対して、「本屋等で買う」と回答した割合が39.4%となっています。約4割が本屋に頼っている中で、現在、街の本屋が激減している状況を考えると、図書館がどのようにそれを補っていくかが重要だと思います。知

識を求めている中学生が、必要としている情報を得られるような機会を提供する提案がなされていると良いと感じました。

(中川委員)

情報を得るということを考えると、インターネットの登場は大きく、それに勝るものはない状況になっていると思いますので、これからは、本を通じたコミュニケーションを密にするという方面で勝負していくことが、図書館の存在価値を高めていくのではないかと思います。

例えば、発表者が互いに面白いと思う本の魅力を紹介し、聴衆が読みたいと思った方に投票して勝負する「ビブリオバトル」というイベントがあります。このようなものを利用し、子どもが本を紹介しあう機会を作るなど、子ども同士のコミュニケーションの場を作ってあげると良いと思います。

(中村所沢図書館長)

「ビブリオバトル」は、所沢図書館でも中学生以上を対象に開催しており、今後も、本を媒介としたコミュニケーションについて考えていきたいと思っています。

(寺本委員)

南相馬市の図書館は、外にテーブルとイスが置いてあり、高校生が勉強している場面をよく見ます。所沢市の図書館でも、そのようなスペースを作ることが出来れば、子どもたちも集まってきますし、図書館に足を運んでもらえれば、図書館の本を利用してもらうことにも繋がっていくと思います。

また、子どもたちが小中学校の図書館から、市立図書館の蔵書を検索することができるシステムがあるといいなと思います。

(内藤教育長)

他に意見等がありますか。

《意見等なし》

(内藤教育長)

それでは、各委員の意見等を踏まえた対応をよろしく申し上げます。

8 報告事項

所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

所沢市教育委員会の9月から12月までの主な行事予定について

（教育総務課）

秋田家住宅特別公開（文化財保護課）

特集展示「トトロの生まれたところ・秋～宮崎駿さんに関する本～」について

（所沢図書館）

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取扱いについて

資料に則り、戸村学校教育部次長より、以下のとおり説明がなされた。

学校運営協議会制度とは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進め、「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組みである。平成16年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下、地教行法)」が改正され、学校運営協議会を設置することができるようになった。この学校運営協議会が設置されている学校を、コミュニティ・スクールという。

コミュニティ・スクールには、主な3つの機能がある。1つ目は、校長が作成する学校運営の基本方針を承認することである。2つ目は、学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができることである。3つ目は、教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができることである。なお、これについては、適正な人事管理に支障をきたす可能性もあることが懸念される。

国では、平成27年12月に中教審から「全ての公立学校において、コミュニティ・スクールを目指すべき」との答申が出されたことを踏まえ、平成28年1月以降、コミュニティ・スクールを推進・加速するための方向性が示された。これを受け、平成29年4月には、地教行法改正により、学校運営協議会の設置が努力義務化された。

平成30年4月1日現在、全国では46都道府県5,432校がコミュニティ・スクールとなっている。埼玉県では、平成21年に川口市立飯仲小学校が県内初のコミュニティ・スクールとなった。その後、国の動向を受け、平成

33年度までに300校でコミュニティ・スクールを設置することを目標として、補助事業などを実施している。平成30年4月1日現在、20市町281校がコミュニティ・スクールとなっている。

所沢市では、すでに学校評議員会を全校で設置し、教育委員会が委嘱した学校評議員が、学校運営に関して意見を述べることにより、地域の声を学校運営に反映させる仕組みが作られている。また、保護者・地域住民によるボランティア組織である学校応援団を中心に、地域の人々が学校に関わり、地域全体で子どもたちを見守るネットワークが構築されている。学校応援団等の支援は、子どもたちの体験的な学びにつながっている。

さらに、本市独自の「安全・安心な学校と地域づくり推進会議」においても、本部会議、支部会議を通して、学校と地域の人々や関係機関が連携を図り、安全で安心な学校・地域づくりについての情報交換を行ったり、行動連携を図ったりもしている。このような現状をふまえ、コミュニティ・スクールが目指す「地域と一体となった特色ある学校づくり」を、本市ではすでに進めていることから、当面は現行の取組を継続していきたいと考えている。

本件の取扱いについては、出席委員全員の承認を得た。

『市内小中学校の普通教室に「エアコン設置」を求める請願』の結果報告について

平成30年度第2回市議会定例会において採択された上記請願の結果報告に関しては、前回の教育委員会会議において、『「市内小・中学校へのエアコン設置」に対する基本方針』に則り回答するとしていたが、内藤教育長より、下記のとおり市議会に回答した旨の報告がなされた。

「現在、教育委員会では、暑さ対策としての『所沢市にふさわしい小中学校の空調設備整備のあり方』について、検討を進めています。今後、小中学校の普通教室等を対象に、速やかにエアコンの設置に努めてまいります。このため財政面を含め関係部局と連携し、その方策を検討してまいります。」

9 その他

- ・教育委員会会議 10月定例会：10月26日(金)午後1時30分
所沢市役所6階 602会議室
- ・教育委員会会議 11月定例会：11月19日(月)午後3時30分
教育センター 第1研修室
- ・平成30年度所沢市教育功労者表彰式：11月19日(月)午後1時30分
教育センターセミナーホール
- ・教育委員会会議 12月定例会：12月21日(金)午後1時30分
所沢市役所6階 602会議室
市議会第4回(12月)定例会の開催日程と調整中

10 閉会 午後3時20分